

木造建築工事仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																		
I 工事概要 1 工事場所 2 地域地区 () 3 敷地面積 m ² 4 建物用途 5 棟別概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>建物名称</th> <th>建築種別</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>消防法の区分</th> <th>建築面積 (m²)</th> <th>延面積 (m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)	1								2								3								4								5								6								7								合計								3 環境への配慮 4 特別な材料の工法及び製品 5 電気保安技術者 (1. 3. 3) 6 施工条件 (1. 3. 5) 7 発生材の処理等 (1. 3. 11)	本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月8日変更閣議決定)」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。 木標仕及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品指定工法によることができる。 ・しまね・ハツ・建設ブランドに登録された下記工法又は製品を使用する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録技術</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	登録技術	適用箇所									11 工事写真 12 完成図 13 安全に関する資料 (1. 7. 3) 14 関連他工事 15 特定元方事業者の指名 16 施工図及び施工計画書 (1. 2. 2、3) 17 耐荷重及び耐外力	下記のものを提出する。 仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類</th> <th>サイズ (mm)</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事中写真 (着工前倉)</td> <td>* カラー</td> <td>* 80×120 程度</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>完成写真</td> <td>* カラー</td> <td>外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>電子データ (CD-R等)</td> <td>デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。</td> <td></td> <td>1 部</td> </tr> </tbody> </table> (注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。 下記のものを、竣工後15日以内に提出する。 仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名・仕様</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>様写 * 竣工図 製本サイズ (* A3縮小版) 白焼</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>図表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上げ))</td> <td></td> </tr> <tr> <td>* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等)</td> <td>1 部</td> </tr> </tbody> </table> 製本の取りまとめについては監督職員の指示による。 設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、 <u>島根県</u> にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>書類名</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)</td> <td>* 1 部</td> </tr> <tr> <td>機器取扱い説明書 機器性能試験成績書 官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)</td> <td>* 1 部</td> </tr> </tbody> </table> (注) 安全に関する資料は1部を施設管理者に引き渡す ・ ・	区分	分類	サイズ (mm)	提出部数	工事中写真 (着工前倉)	* カラー	* 80×120 程度	部	完成写真	* カラー	外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	部	電子データ (CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部	品名・仕様	提出部数	様写 * 竣工図 製本サイズ (* A3縮小版) 白焼	部	図表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上げ))		* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等)	1 部	書類名	提出部数	建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1 部	機器取扱い説明書 機器性能試験成績書 官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの	部	建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)	* 1 部	2 仮設工事 3 現場事務所 4 工事用電力、水、その他 5 仮囲い及び出入口 6 養生シート 7 洗車場 8 木製安全施設製品 (県産木材製品)	「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」による。 設置する 面積: m ² 程度 仕上げ: 備品: 設備: 設置できる (・ 敷地内 ・ 敷地外 (設置可能場所:)) 構内既存の施設 工事用水 ・ 利用できる (有償) ・ 利用できない 工事用電力 ・ 利用できる (有償) ・ 利用できない 設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。 設置範囲 ・ 図示の位置 ・ 外部足場全面 養生シートの種別 ・ 養生シート ・ 防災Ⅰ類 ・ 防災Ⅱ類 ・ ネット状養生シート ・ 防災Ⅰ類 ・ 防災Ⅱ類 ・ 設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。 * 工事用看板 (表示板1, 400mm×500mm用) 2台 * 工事用バリケード 5台 ・ 工事用標示板 (表示板1, 400mm×1,100mm用) 台 (注) 取扱いは平成25年3月8日付第945号による
No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)																																																																																																																		
1																																																																																																																									
2																																																																																																																									
3																																																																																																																									
4																																																																																																																									
5																																																																																																																									
6																																																																																																																									
7																																																																																																																									
合計																																																																																																																									
登録技術	適用箇所																																																																																																																								
区分	分類	サイズ (mm)	提出部数																																																																																																																						
工事中写真 (着工前倉)	* カラー	* 80×120 程度	部																																																																																																																						
完成写真	* カラー	外部全景 * 120×170 程度 その他 * 80×120 程度	部																																																																																																																						
電子データ (CD-R等)	デジタルカメラを使用した場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部																																																																																																																						
品名・仕様	提出部数																																																																																																																								
様写 * 竣工図 製本サイズ (* A3縮小版) 白焼	部																																																																																																																								
図表装 (* レザック表紙 (ラミネート仕上げ))																																																																																																																									
* 電子データ (PDFデータ、CADデータ、施工図) (CD-R等)	1 部																																																																																																																								
書類名	提出部数																																																																																																																								
建築物等の利用に関する説明書 (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1 部																																																																																																																								
機器取扱い説明書 機器性能試験成績書 官公署等届出書類 その他監督職員が指示するもの	部																																																																																																																								
建築物等の利用に関する説明書の電子データ (CD-R等)	* 1 部																																																																																																																								
II 工事仕様 1 共通事項 (1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)」(以下「木標仕」という)及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版[平成31年4月25日改定]」(以下「標準仕様書」という)による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 2 特記事項 (1) 章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は ⊙ 印を適用する。 ⊙ 印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。 ⊙ 印と ⊕ 印のある場合はともに適用する。 (3) 特記事項に記載の () 内表示番号は、木標仕の当該項目・図または表を示す。特記事項に記載の < > 内表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。	8 交通安全管理 (1. 3. 8) 9 技能士の適用 (1. 5. 2) 10 化学物質の濃度測定 (1. 5. 9)	以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。 配置する位置は別に図示する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>人・日数</th> <th>交通安全管理の必要な作業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通誘導員A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通誘導員B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通整理員</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。 取扱い等は平成19年4月26日付技第26号による * 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。	名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等	交通誘導員A			交通誘導員B			交通整理員			以下のとおり測定し、その結果を監督職員に報告する。 測定化学物質名: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・ 営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領 ・ 学校施設の工事における環境衛生検査の濃度測定要領 ・ 住宅性能表示制度に基づく測定方法 (ただし書きによる測定方法を含む) 測定箇所: 箇所 測定対象室:	3 土・地業・基礎工事 1 埋戻し及び盛土の種別 (3. 2. 3) 2 建設発生土の処理 (3. 2. 5) 3 山留め (3. 3. 2~3) 4 試験杭 << 4. 2. 2 >> 5 杭の載荷試験 << 4. 2. 3 >> 6 地盤の載荷試験 << 4. 2. 4 >>	埋戻し ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (表3. 2. 1) (材料: 工法:) 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (表3. 2. 1) (C種の場合の詳細は、現場説明書による。) (材料: 工法:) 現場説明書による 工法等 () 存置 ・ する * しない 鋼矢板等の抜き跡の処理工法 * 砂を充填する * 図示による ・ 実施する ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 試験杭の位置及び載荷荷重等は図示による。 試験の方法及び報告書の記載事項等は図示による。 ・ 実施する 平板載荷試験 試験位置及び載荷荷重は図示による。 試験の方法及び報告書の記載事項等は図示による。																																																																																																								
名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等																																																																																																																							
交通誘導員A																																																																																																																									
交通誘導員B																																																																																																																									
交通整理員																																																																																																																									
図面番号	工 事 名	図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者	設 計 者																																																																																																																			
()		仕様書1																																																																																																																							

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項											
7	既製コンクリート及び鋼杭地業 《4.3節、4.4節》	* 工法 () 杭の種類種類 * 図示による 規格名称 曲げ強度による区分 * 図示による 寸法 (径×長さ) * 図示による 設計支持力 (kN/本) * 図示による 先端部形状 継手の工法 杭頭の処理 * 図示による 支持層の位置及び土質 * 図示による 杭の精度 水平方向の位置ずれ * 構造図による・杭径の1/4かつ100mm以下 (建学標仕JASS4) (注) 杭の施工誤差による偏心については施工後、監督職員に報告し、構造計算上の安全確認を行うこと。	* 工法 () 支持層の位置及び土質等は図示による コンクリート種類 ・ A種 ・ B種 (表4.5.1) 設計基準強度 N/mm ² 構造体コンクリート強度と供試体の強度差を考慮した割り増し ・ 行う (・3N/mm ² ・) * 行わない 杭の精度 水平方向の位置ずれ * 構造図による・杭径の1/4かつ100mm以下 (建学標仕JASS4) (注) 杭の施工誤差による偏心については施工後、監督職員に報告し、構造計算上の安全確認を行うこと。	15 継手 《5.3.4》 16 定着長さ 《5.3.4》 17 コンクリートの種類と強度 《6.2.1~2》 《6.10.1~2》 * 普通コンクリート 設計基準強度 (F _c) 気乾単位容積質量 スラブ 適用箇所 * 21N/mm ² * 2.3t/m ³ 程度 * 15 * 18 * 図示による * 軽量コンクリート 設計基準強度 (F _c) (N/mm ²) 種別 所用気乾単位容積質量 (t/m ³) 適用箇所 * 1種 * 2種 * 図示による * 1種 * 2種 打放し仕上げの種別 (合板せき板を用いる場合) (表6.2.4) 種別 適用箇所 * A種 * B種 * C種 コンクリートの仕上りの平たんさ (表6.2.5) 種別 適用箇所 * a種 * 図示による * b種 * 図示による * c種 * 図示による 18 構造体コンクリートの仕上り 《6.2.5》 19 塩化物量、アルカリ総量及び混和材料 《6.3.1》 塩化物量 0.3kg/m ³ 以下 (6.5.4(1)) アルカリ総量 3.0kg/m ³ 以下 (6.5.4(2)) 混和剤の種類 * 6.3.1(4)(a)による * 図示による 混和剤の種類 * 6.3.1(4)(b)による * 図示による	20 型枠 《6.8.1》 《6.8.2》 21 無筋コンクリート 《6.14.1》 4 木造工事 1 防腐・防蟻処理 (4.2.1~3) 2 防腐措置 (4.2.4) 3 防火被覆処理 (4.3.1~3)	コンクリートの打ち増し厚さ (打ち放し仕上げ部) * 外部 (mm) * 内部 (mm) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 * 図示による 材料 * 合格 規格 厚さ 適用箇所 * 表面加工品 * 12mm * B-C * 12mm * 床型枠用鋼製デッキプレート (建設技術評価品または評価名簿による) 適用箇所 (* 図示による) * メッシュ型枠 適用箇所 (* 図示による) * 断熱材兼用型枠 適用箇所 () * MCR工法用シート 適用箇所 () * 化粧型枠 適用箇所 (* 図示による) 参考品番 (* 図示による) コンクリートの種類 * 普通コンクリート 設計基準強度 (F _c) スラブ 適用箇所 * 18N/mm ² * 15cm * 6.14.1(4) * 18cm (ア)~(カ)による * 図示による	5 軸組工法 (壁構造系) 工事 1 一般事項 (5.1.1) 2 共通材料 (5.2.2~3) 3 接合金物・接合具等 (5.2.4) 4 接着剤 (5.2.4) 5 孔あけ加工 (5.4.3) 6 木材の表面仕上げ (5.4.4) 7 アンカーボルトの設置等 (5.5.4)	建築基準法施工令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物に適用する 軸組構法 (壁構造系) 工事に使用する木材は、使用材料表1による 軸組構法 (壁構造系) 工事に使用する構造用面材は、使用材料表2による * 接合金物 * Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格 () * Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 寸法、形状、材質 (* 図示による) 表面処理 () * 釘及び木ねじ * Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格 () * Z、C、D、Sマーク表示金物以外の釘及び木ねじ * コンクリート用釘、特殊な釘及び木ねじ 材質、寸法、形状 (* 図示による) * ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 * Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格 () * Z、C、D、Sマーク表示金物以外のボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ボルト及びナットの材料 (* 図示による) アンカーボルトの材質、寸法 (* 図示による) 座金の材質 () 座金の厚さ、寸法及び形状 * 図示による 表面処理 (* 図示による) * ラグスクリュー * Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格 () * Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー 形状、寸法 (* 図示による) * ドリフトピン 材質 (* 図示による) 形状 (* 図示による) 径、寸法 (* 図示による) 表面処理 (* 図示による) * 木栓及び木ダボ 樹種 () 形状、長さ () * 床滑り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着材JIS A 5550) 種類 () * 接着剤による接合 * 接着剤を併用した接合 接着剤の種類 () ボルト孔の径 (* 図示) ドリフトピンの孔径 (* 図示) 見え掛り面の表面の仕上げの程度 (表5.4.3、5) * 製材 () * 機械加工 (* A種 * B種 * C種) * 手加工 (* H-A種 * H-B種 * H-C種) * 構造用集成材 (表5.4.4) * 機械加工 (* A種 * B種) * 丸太材 (表5.4.6) * 機械加工 (* A種 * B種) * 手加工 (* H-A種 * H-B種 * H-C種) * 木材保護塗料塗り 施工箇所 * 図示 種別 * A種 * B種 埋込み深さ * 図示による 埋込み保持、埋込み工法 * A種 * B種 埋め込み位置の許容差 * 図示 * ±5mm																							
									8	場所打ちコンクリート杭地業 《4.5節》																					
									9	砂利地業 《4.6.2節》	材料 * 再生クラッシュラン * 切込砂利 * 切込砕石 厚さ * 図示による																				
									10	捨てコンクリート地業 《4.6.4》	範囲及び厚さ * 図示による																				
									11	床下防湿層 《4.6.5節》	施工範囲は図示による。																				
									12	その他の地業	* 地盤改良 工法 * 工法 () 詳細は図示による セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の試験 * 六価クロム溶出試験 配合設計段階 検体 施工後段階 検体 * タンクリーチング試験																				
									13	鉄筋の種類 《5.2.1》	種類の記号 径 * SD295A D10 D13 D16 * SD345 D19以上																				
									14	溶接金網 《5.2.2》	* 寸法、施工箇所は図示による																				
									図面番号	工 事 名						図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者			設 計 者									
									()							仕様書2															

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項												
6 軸 組 工 法 (軸 構 造 系) 工 事	8 基礎天端及び柱 均しモルタルの 仕上げ (5.5.4)	材料 ・モルタル ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による	4 原 寸 図 (6.4.2) 5 孔 あ け 加 工 (6.4.5) 6 木 材 の 表 面 仕 上 げ (6.4.6) 7 ア ン カ ー ボ ルト の 設 置 等 (6.5.3) 8 基 礎 天 端 及 び 柱 底 均 し モ ル タ ル の 仕 上 げ (6.5.4) 9 建 方 精 度 (6.5.7)	・釘及び木ねじ ・Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格() ・Z、C、D、Sマーク表示金物以外の釘及び木ねじ ・コンクリート用釘、特殊な釘及び木ねじ 材質、寸法、形状(・図示による)	10 接合金物の工法 (6.5.8)	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材(JISA 9526)	7 C L T パ ネ ル 工 事	11 釘及び木ねじの 工法 (6.5.10)	部位ごとの釘の種類及び釘打ちの間隔 ・図示による 構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ・木ねじ頭埋め木	8 接 合 金 物 の 工 法 (9.5.9)	ドリフトピン 材質(・図示による) SS400) 形状(・図示による) 丸鋼) 径、寸法(・図示による) 表面処理(・図示による) 接着剤 ・床滑り防止用接着剤 接着剤の種類(床根太用接着材JISA 5550) 種類() ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類()												
	9 建方精度 (5.5.6)	建入れ直し後の建方精度の許容値 ・図示 ・垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下		・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 ・Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格() ・Z、C、D、Sマーク表示金物以外のボルト、アンカーボルト、 ナット及び座金 ボルト及びナットの材料(・図示による) アンカーボルトの材質、寸法 (・図示による) 座金の材質() 座金の厚さ、寸法及び形状 ・図示による) 表面処理(・図示による)	12 輪型ジベル接合 (6.5.15)	・図示による		3 孔あけ加工 (9.4.4)	ボルト孔の大きさ(・図示による)														
	10 接合金物の工法 (5.5.7)	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材(JISA 9526)		・ラグスクリュー ・Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格() ・Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー 形状、寸法(・図示による)	13 圧入型ジベル接合 (6.5.16)	・図示による		4 表面仕上げ (9.4.5)	表面の仕上げ ・直交集成板 ・A種 ・B種 木材保護塗料塗り 施工箇所 ・図示による 種別 ・A種 ・B種														
	11 釘及び木ねじの 工法 (5.5.9)	部位ごとの釘の種類及び釘打ちの間隔 ・図示による ・構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し		・ドリフトピン 材質(・図示による) 形状(・図示による) 径、寸法(・図示による) 表面処理(・図示による)	14 火打土台 (6.6.2)	材質 ・木材 ・鋼材()		5 アンカーボルトの 設置等 (9.5.3)	保持及び埋め込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容差 ・±2mm ・±5mm														
	12 火打土台 (5.6.2)	材質 ・木材 ・鋼材()		・木栓及び木ダボ 樹種() 形状、長さ()	15 火打梁 (6.7.8) (6.8.6)	材質 小屋組 ・木製 ・鋼製() 床組 ・木製 ・鋼製()		6 基礎天端均し モルタルの仕上げ (9.5.4)	材料 ・モルタル ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による														
	13 火打梁 (5.7.8)	材質 小屋組 ・木製 ・鋼製() 床組 ・木製 ・鋼製()		・接着剤 ・床滑り防止用接着剤 接着剤の種類(床根太用接着材JISA 5550) 種類() ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類()	16 床 束 (6.8.2)	材質 ・木製 ・鋼製() ・樹脂		7 建方精度 (9.5.7)	建入れ直し後の建方精度の許容値 ・図示による ・垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下、 かつ床及び壁の天端の平坦さ±3mm以下														
	14 床 束 (5.8.2)	材質 ・木製 ・鋼製() ・樹脂		床書き原寸図の作成 ・する ・ない	7 C L T パ ネ ル 工 事	1 木 材 (9.2.2)		・CLT(直交集成板) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>曲げ強度 (強度等級)</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所		品 名	樹種	寸法(mm)	曲げ強度 (強度等級)	接着性能 (使用環境)							8 接合金物の工法 (9.5.9)	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材
	施工箇所	品 名		樹種		寸法(mm)		曲げ強度 (強度等級)	接着性能 (使用環境)														
	15 真壁造土塗り壁 耐力壁 (5.9.6)	間渡し竹 ・マダケ ・シノチク 耐力壁 土塗り壁の厚さ ・図示による		見え掛り面の表面の仕上げの程度 (表6.4.2~4) ・製材 ・機械加工(・A種 ・B種 ・C種) ・手加工(・H-A種 ・H-B種 ・H-C種) ・構造用集成材 ・機械加工(・A種 ・B種) ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ・図示による 種別 ・A種 ・B種	2 接合金物・接合具等 (9.2.3)	接合金物 ・Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格() ・Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 強度試験 ・実施する ・実施しない 寸法、形状、材質(・図示による) 表面処理() 釘及び木ねじ ・Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格() ・Z、C、D、Sマーク表示金物以外の釘及び木ねじ ・コンクリート用釘、特殊な釘及び木ねじ 材質、寸法、形状(・図示による) ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 材料 ・図示 形状 ・図示 寸法 ・図示 表面処理 ・図示 ラグスクリュー ・Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格() ・Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー 形状、寸法(・図示による)		9 釘及び木ねじの 工法 (9.5.10)	構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ・木ねじ頭埋め木														
	16 大臣認定耐力壁 (5.9.10)	・床勝ち大壁造の構造用合板耐力壁 材料及び工法 ・図示による ・床勝ち真壁造の構造用合板耐力壁 材料及び工法 ・図示による		7 アンカーボルトの 設置等 (6.5.3)	埋込み深さ ・図示による 保持、埋込み工法 ・A種 ・B種 埋め込み位置の許容誤差 ・図示による ・±5mm	8 基礎天端及び柱底 均しモルタルの 仕上げ (6.5.4)		材料 ・モルタル ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による 柱底均しモルタルの工法 ・A種 ・B種	9 建方精度 (6.5.7)		建入れ直し後の建方精度の許容値 ・図示 ・垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下												
	6 一般事項 (6.1.1)	建築基準法施行令46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する		7 アンカーボルトの 設置等 (6.5.3)	埋込み深さ ・図示による 保持、埋込み工法 ・A種 ・B種 埋め込み位置の許容誤差 ・図示による ・±5mm	8 基礎天端及び柱底 均しモルタルの 仕上げ (6.5.4)		材料 ・モルタル ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による 柱底均しモルタルの工法 ・A種 ・B種	9 建方精度 (6.5.7)		建入れ直し後の建方精度の許容値 ・図示 ・垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下												
	2 共通材料 (6.2.2~3)	軸組構法(軸構造系)工事に使用する木材は、使用材料表3による 軸組構法(軸構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による		8 基礎天端及び柱底 均しモルタルの 仕上げ (6.5.4)	材料 ・モルタル ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ・図示による 柱底均しモルタルの工法 ・A種 ・B種	9 建方精度 (6.5.7)		建入れ直し後の建方精度の許容値 ・図示 ・垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下															
	3 接合金物・接合具等 (6.2.4)	・接合金物 ・製造接合金物 寸法・形状 * 図示による 鋼材の材質 ・ 表面処理 ・溶融亜鉛めっき(種別) ・電気亜鉛めっき(種別) ・錆止め塗装(種別) ・Z、C、D、Sマーク表示金物 マークの規格()		9 建方精度 (6.5.7)	建入れ直し後の建方精度の許容値 ・図示 ・垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下																		
	1 一般事項 (6.1.1)	建築基準法施行令46条第2項を適用した軸組の建築物に適用する																					
	図面番号	工 事 名		図面種別	縮 尺	設計・年月			担 当 者														
()		仕様書3				設 計 者																	

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																										
8	木 工 事	1 適用箇所 (10.1.1)	5 合 板 等 (10.2.3)	・ 普通合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理						・ 適用する ・ 適用しない	9 防 水 工 事	1 FRP系塗膜防水 (11.2.2) (11.2.4)	・ ルーフドレン ・ RP系塗膜防水用ルーフドレン ・ 下地合板の上の防火板 ・ ケイ酸カルシウム版 ・ 厚さ * 10mm ・ 防水層平場の勾配 * 1/100以上 ・ 水張り試験	11 タ イ ル 工 事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 <11.1.3>	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の設置位置 外壁 * 図示による 伸縮調整目地の設置位置 屋内 * 図示による																															
		施工箇所		厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理																																													
								・ 適用する ・ 適用しない																																													
		2 表面仕上げ (10.1.3)		・ 機械加工 機械加工の場合の仕上げの程度 (表10.1.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	適用箇所	・ A種		・ B種		・ C種		・ 構造用合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	等級	単板の樹種名		接着の程度	板面の品質		厚さ (mm)	防虫処理	強度等級							・ 適用する ・ 適用しない		2 シーリング (11.3.2) (11.3.5)	シーリング材の種類及び施工箇所 図示以外は、表11.3.1による 接着性試験 ・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験) ・ 行わない	2 施工後の試験 <11.1.5>	接着力試験 実施する 試験対象箇所 ()																		
種 別	適用箇所																																																				
・ A種																																																					
・ B種																																																					
・ C種																																																					
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級																																														
						・ 適用する ・ 適用しない																																															
3 一般事項 (10.2.1)	木材の含水率 * A種 ・ B種 (表10.2.1)	・ 化粧ばり構造用合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理					・ 適用する ・ 適用しない	3 防水テープ (11.4.2)	両面粘着防水テープの幅 * 50mm以上	3 タ イ ル <11.2.2> <11.3.2> <11.4.2>	タイルの種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>備考 (参考品番等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) タイルの色は特記無き限りメーカー標準色とする。 役物使用箇所 (形状は図示による) 内装 ・ 出隅 ・ 天端 外装 ・ 出隅 ・ 窓台 ・ マグサ (標準一体成型品以外は接着成型品とする) タイルの試験張り ・ 行わない ・ 行う () タイルの見本焼き ・ 行わない ・ 行う ()	適用箇所	形状寸法 (mm)	備考 (参考品番等)																																		
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																	
				・ 適用する ・ 適用しない																																																	
適用箇所	形状寸法 (mm)	備考 (参考品番等)																																																			
4 木 材 (10.2.2)	製材 ・ 「製材の日本農林規格」による (樹種・寸法・等級・形状等は図示による) ・ 「製材の日本農林規格」以外 (寸法・乾燥処理・防虫処理・難燃処理は図示による) 造作用集成材 ・ 「集成材の日本農林規格」による ・ 「集成材の日本農林規格」以外 ・ 造作用集成材 (寸法は図示による) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹 種</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹 種	見付け材面の品質			・ 1等 ・			・ 1等 ・			・ 1等 ・			・ 1等 ・	・ 天然木化粧合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理					・ 適用する ・ 適用しない	4 防水コーナースリ (11.4.3)	* 図示による ・ アルミニウム笠木 材質 () 仕上げ ()	4 セメントモルタルによるタイル張り <11.2.7>	・ モルタル塗りのコンクリート素地の処理 工法 () ・ 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 既調合モルタル																						
施工箇所	樹 種	見付け材面の品質																																																			
		・ 1等 ・																																																			
		・ 1等 ・																																																			
		・ 1等 ・																																																			
		・ 1等 ・																																																			
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理																																																	
				・ 適用する ・ 適用しない																																																	
		・ 化粧ばり造作用集成材 (寸法は図示による) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>心材の樹種</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱</td> <td></td> <td>・ 杉</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>輪居・長押・回縁</td> <td></td> <td>・ 杉</td> <td>・ 0.6</td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>天井板</td> <td></td> <td>・ 杉</td> <td>・ 0.2</td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td>敷居</td> <td></td> <td>・ サクラ</td> <td>・ 1.5</td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1等 ・</td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	柱		・ 杉	・ 1.0	・ 1等 ・	輪居・長押・回縁		・ 杉	・ 0.6	・ 1等 ・	天井板		・ 杉	・ 0.2	・ 1等 ・	敷居		・ サクラ	・ 1.5	・ 1等 ・					・ 1等 ・	・ 特殊加工化粧合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理						・ 適用する ・ 適用しない	5 ケイ酸質系塗布防水 (11.5.1)	<表9.6.2> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	種 別	* 図示による		4 有機系接着剤によるタイル張り <11.2.7>	・ モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 工法 ()
施 工 箇 所	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質																																																	
柱		・ 杉	・ 1.0	・ 1等 ・																																																	
輪居・長押・回縁		・ 杉	・ 0.6	・ 1等 ・																																																	
天井板		・ 杉	・ 0.2	・ 1等 ・																																																	
敷居		・ サクラ	・ 1.5	・ 1等 ・																																																	
				・ 1等 ・																																																	
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理																																																
					・ 適用する ・ 適用しない																																																
適用箇所	種 別																																																				
* 図示による																																																					
		・ 化粧ばり構造用集成材 (寸法は図示による) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>心材の樹種</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ (mm)																	・ パーティクルボード <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)							10 石 工 事	1 天 然 石 <10.2.1>	品質 (JIS A 5003による岩石の種類、等級) <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>等 級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床 用</td> <td></td> <td>・ 1等品 ・ 2等品</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td></td> <td>・ 1等品 ・ 2等品</td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	岩石の種類	等 級	床 用		・ 1等品 ・ 2等品	その他 ()		・ 1等品 ・ 2等品	12 屋 根 及 び と い 工 事	1 共通材料 (14.2.2)	下葺材料 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 ・ アスファルトルーフィング940 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷対策 ・ 行う ・ 行わない			
施 工 箇 所	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ (mm)																																																		
施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																
適用箇所	岩石の種類	等 級																																																			
床 用		・ 1等品 ・ 2等品																																																			
その他 ()		・ 1等品 ・ 2等品																																																			
		・ 造作用単板積層材 (寸法は図示による) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然木化粧加工</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所	表面の品質	防虫処理	厚さ (mm)	天然木化粧加工																・ ミディアムデンシティーファイバーボード <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)							2 取付け金物 <10.2.2>	・ 外壁湿式工法 * 受金物の材質、形状及び寸法等は図示による ・ 内壁空積工法 * 受金物の材質、形状及び寸法等は図示による ・ 乾式工法 方式 () * 受金物の材質、形状及び寸法等は図示による	2 金属板葺 (14.3.1~14.3.8)	工法 (建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に応じた工法) ・ 平葺 (一文字葺) ・ 心木あり瓦葺 ・ 心木なし瓦葺 ・ 横葺 ・ 立平葺 金属板の種類 ・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (用途 A種、下地鋼板 S G) ・ 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 金属板の厚さ * 図示による 雪止め * 設置する ・ 設置しない														
施 工 箇 所	表面の品質	防虫処理	厚さ (mm)																																																		
天然木化粧加工																																																					
施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																
		・ 直交集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>曲げ強度</th> <th>種別</th> <th>接着性能</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	品 名	曲げ強度	種別	接着性能	樹種	寸法 (mm)															釘等 造作用材の化粧面の釘打ち * 図示による 諸金物の形状、寸法及び材質 (表12.2.3~表12.2.5、表14.2.2) * 図示による	3 その他の材料 <10.2.3>	取付用モルタル ・ 石材施工業者の指定製品 石裏面処理材 ・ 石材施工業者の指定製品 裏打ち処理材 ・ 石材施工業者の指定製品 ドレンパイプ 金物固定充填材料 ・ 石材施工業者の指定製品	3 粘土瓦葺 (14.5.1~3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="4">種 類</th> <th rowspan="2">役物瓦の種類</th> <th rowspan="2">雪止め瓦</th> </tr> <tr> <th>製法による区分</th> <th>形状による区分</th> <th>寸法による区分</th> <th>大きさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>* 石州瓦</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>* 石州瓦</td> <td>図示による</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種 類				役物瓦の種類	雪止め瓦	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ						* 石州瓦	図示による						* 石州瓦	図示による
施工箇所	品 名	曲げ強度	種別	接着性能	樹種	寸法 (mm)																																															
施工箇所	種 類				役物瓦の種類	雪止め瓦																																															
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ																																																	
					* 石州瓦	図示による																																															
					* 石州瓦	図示による																																															
							瓦棧木 材質 ・ 杉 寸法 ・ 幅21×高さ15 (mm)以上 防腐・防蟻処理 * 適用する ・ 適用しない 棟補強用心材 材質 ・ 杉 寸法 ・ 幅40×高さ30 (mm) 防腐・防蟻処理 * 適用する ・ 適用しない																																														
図面番号	工 事 名		図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者																																															
()			仕様書4					設 計 者																																													

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																										
4	スレート葺 (14.6.1~3)	棟補強等に使用する金物 材質 ・ ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状 ・ 寸法 ・ 留付け方法 * 図示 工法 (建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に応じた工法)	14 左 官 工 事	3 鉄鋼の亜鉛めっき 《14.2.3》	《表14.2.2》 適用箇所 種別	7 仕上塗材仕上げ 《15.6.2》	仕上げ塗材の種類 (表15.6.1) * 上塗り材はすべてに適用する ・ 薄付け仕上塗材 適用箇所 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 備考 ・ 厚付け仕上塗材 適用箇所 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 備考 ・ 複層仕上塗材 適用箇所 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐候性 備考 ・ 軽量骨材仕上塗材 適用箇所 呼び名 仕上げの形状 工法 備考 下地処理 ALCパネル下地の場合の内壁目地の形状 種類 施工箇所 ・ セメント系 ・ せっこう系	4 アルミニウム製建具 (16.2.2)	アルミニウム製建具の性能値等 (表16.2.1) ・ 外部に面する建具の種類 施工箇所 種別 耐風圧性 気密性 水密性 遮音性 断熱性 耐火性 特の見込み寸法 アルミニウムの表面処理 種別 標準色・特注色の別 結露水の処理方法 * 図示による 水切り板、ぜん板 * 図示による																												
		5 アスファルトシングル葺 (14.7.1~3)		屋根スレートの材料 種類、寸法及び形状、色彩等 * 図示による 雪止め瓦 * 使用する ・ 使用しない	1 共通材料 《15.2.4》					・ ラス 素材による区分 () 種類 () 単位体積当りの質量 ()	8 セルフレベリング材塗り 《15.5.2》	5 ネット戸 《16.2.3》	6 樹脂製建具 《16.3.2》	樹脂製建具の性能値等 (表16.3.1) ・ 外部に面する建具の種類 (コンクリート及び鉄骨下地) 施工箇所 種別 耐風圧性 気密性 水密性 遮音性 断熱性 耐火性 特の見込み寸法 ・ 防虫網 ・ 防鳥網																							
		6 とい (14.8.1)		品質、形状、色調及び寸法 * 図示による 軒先及びけらば等に曲面を設ける場合の半径 * 50mm 雪止め瓦 * 使用する ・ 使用しない	2 下地 《15.2.4》					ラス系下地 (15.2.3) ・ 直張りラスモルタル下地 ・ 直張りラスシート下地 ・ 通気構法単層下地 ・ 通気構法二層下地					15 建具工事	7 鋼製建具 《16.4.2~3》	7 鋼製建具 《16.4.2~3》	鋼製建具の性能値 ・ 簡易気密型ドアセット 適用箇所 気密性 水密性 耐風圧性 (外部に面する場合) 備考 鋼板類の厚さ * 図示による																			
		7 施工保証書		といた材料 ・ 金属板 種類 () ・ 銅板 ・ 硬質塩化ビニル樹脂 * 詳細は図示による	3 モルタル塗り 《15.3.2~5》					床の目地 ・ 設ける (図示による) ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの 接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない									1 防火戸 《16.1.3》	8 鋼製軽量建具 《16.5.2~3》	8 鋼製軽量建具 《16.5.2~3》	鋼製軽量建具の性能値 ・ 簡易気密型ドアセット 適用箇所 気密性 遮音性、断熱性、耐火性 備考 材料 鋼板類の種類 ・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金押出成形材 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ * 図示による															
		13 金属工事		建築板金工事に係る施工保証 ・ 屋根の防水 10年間 (保証箇所:) ・ 雨どい 5年間 (保証箇所:) 上記期間の施工保証書を提出し、期間内に受注者の責任により漏水したときは、受注者の負担により直ちに補修することを確約する。	4 せっこうプラスター塗り 《15.8.2》					下塗り及び中塗り ・ 既調合プラスター (下塗り用) ・ 現場調合プラスター (下塗り用) 上塗り ・ 既調合プラスター (上塗り用) ・ しっくい塗り													2 見本の製作等 《16.1.4》	8 鋼製軽量建具 《16.5.2~3》	8 鋼製軽量建具 《16.5.2~3》	鋼製軽量建具の性能値 ・ 簡易気密型ドアセット 適用箇所 気密性 遮音性、断熱性、耐火性 備考											
		1 ステンレスの表面仕上げ 《14.2.1》		屋外 * 図示による 屋内 * 図示による	5 しっくい塗り 《15.10.1~3》					適用箇所 下地 しっくい塗材の種類等 調合 各層の塗厚 (mm) 備考 ・ せっこうラスボード ・ せっこうボード																	3 防犯建物部品 《16.1.6》	8 鋼製軽量建具 《16.5.2~3》	8 鋼製軽量建具 《16.5.2~3》	鋼製軽量建具の性能値 ・ 簡易気密型ドアセット 適用箇所 気密性 遮音性、断熱性、耐火性 備考							
		2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 《14.2.2》		常温乾燥型塗装 ・ 陽極酸化被膜の着色方法 ・ 色合い ・	6 小舞壁塗り 《15.11.2~8》					のり ・ 土壁用 * つのまた ・ 砂壁用 * ふのり 色土 ・ 土物仕上に用いる色土の種類 () ・ 大津仕上に用いる色土の種類 () 色砂 種類 () 工程の種類 * A種 ・ B種 仕上げ工法 ・ 土物仕上げ 種類 () ・ 大津仕上げ 種類 ()																					3 防犯建物部品 《16.1.6》	8 鋼製軽量建具 《16.5.2~3》	8 鋼製軽量建具 《16.5.2~3》	鋼製軽量建具の性能値 ・ 簡易気密型ドアセット 適用箇所 気密性 遮音性、断熱性、耐火性 備考			
		図面番号		工事名	図面種別					縮尺																									設計・年月	担当者	設計者
		()			仕様書5																																

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																													
6	せつこうボード、 その他ボード及び 合板張り 《19.7.2~3》	せつこうボード、その他ボードの種類、厚さ、防火性能等は、 図示による。 合板の種類等 ・ 普通合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防火処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td>(広葉樹) ・ 1等 ・ 2等 (針葉樹) ・ C-D以上</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・ 天然木化粧合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>化粧板の樹種名</th> <th>防火処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・ 特殊加工化粧合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防火処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> <td></td> <td>・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> ・ 軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材 ・ アクリル系 ・ ウレタン系 ・ ジョイントコンパウンド 下地の工法 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ・ 合板の張付け ・ A種 ・ B種 せつこうボードの目地工法 ・ 突付け工法 適用箇所 () ・ 目透し工法 適用箇所 () ・ 継目処理工法 適用箇所 ()	適用箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防火処理				・ 1類 ・ 2類	(広葉樹) ・ 1等 ・ 2等 (針葉樹) ・ C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない	適用箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板の樹種名	防火処理			・ 1類 ・ 2類		・ 適用する ・ 適用しない	適用箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防火処理			・ 1類 ・ 2類		・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	・ 適用する ・ 適用しない	17 断熱 ・ 防露 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	1 断熱材等材料 (20.1.2)	・ 断熱材 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">断熱材の種類</th> <th>規格番号</th> <th>厚さ 又は使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">フェルト状 断熱材</td> <td rowspan="2">・ グラスウール</td> <td>・ J I S A 9 5 0 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ J I S A 9 5 2 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ロックウール</td> <td>・ J I S A 9 5 0 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ J I S A 9 5 2 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ボード状 断熱材</td> <td>・ グラスウール</td> <td>・ J I S A 9 5 0 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td>・ J I S A 9 5 1 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ポリエチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ばら状 断熱材</td> <td>・ グラスウール</td> <td>・ J I S A 9 5 2 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ セルローズファイバー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場発泡 断熱材</td> <td>・ 吹付け硬質ウレタンフォーム A種1又はA種1H (難燃性を有するもの)</td> <td>・ J I S A 9 5 2 6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・ 現場発泡断熱材 種類 * A種1 ・ A種1H ・ A種2 ・ A種3 厚さ * 図示による ・ 防湿材 ・ J I S A 6 9 3 0 (住宅用プラスチック系防湿フィルム) によるもの ・ J I S Z 1 7 0 2 (発泡用ポリエチレンフィルム) によるもの ・ J I S K 6 7 8 1 (農業用プラスチック系防湿フィルム) によるもの 厚さ ・ ・ 気密材 ・ J I S A 6 9 3 0によるもの ・ J I S A 6 1 1 1 (透湿防水シート) によるもの ・ 厚さ ・	断熱材の種類		規格番号	厚さ 又は使用量	フェルト状 断熱材	・ グラスウール	・ J I S A 9 5 0 4		・ J I S A 9 5 2 1		・ ロックウール	・ J I S A 9 5 0 4		・ J I S A 9 5 2 1		ボード状 断熱材	・ グラスウール	・ J I S A 9 5 0 4		・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ J I S A 9 5 1 1		・ 硬質ウレタンフォーム			・ ポリエチレンフォーム			ばら状 断熱材	・ グラスウール	・ J I S A 9 5 2 3		・ ロックウール			・ セルローズファイバー			現場発泡 断熱材	・ 吹付け硬質ウレタンフォーム A種1又はA種1H (難燃性を有するもの)	・ J I S A 9 5 2 6		4 移動間仕切 《20.2.4》	適用箇所 * 図示による 性能等 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式による種類</th> <th rowspan="2">操作方式による種類</th> <th rowspan="2">任意装置の操作方式</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th rowspan="2">遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>パネル材質</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ハンガーレール 性能等 ・ ・ 10.2.4(3)(オ)による 取付け下地の補強 ・ ・ 10.2.4(3)(ウ)による 固定方法 ・ 溶接 ・ あと施工アンカー (材質 寸法) ランナー 性能等 ・ ・ 10.2.4(3)(カ)による パネルをランナーに取り付ける部品 ・ ・ 10.2.4(3)(エ)による	構造形式による種類	操作方式による種類	任意装置の操作方式	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)	パネル材質	表面仕上げ								11 ロールスクリーン 《20.2.13》	適用箇所 操作方式 材質 製造所等 幅・高さ 備考 * 図示による
		適用箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防火処理																																																																																																	
			・ 1類 ・ 2類	(広葉樹) ・ 1等 ・ 2等 (針葉樹) ・ C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																			
適用箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板の樹種名	防火処理																																																																																																				
		・ 1類 ・ 2類		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																				
適用箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防火処理																																																																																																			
		・ 1類 ・ 2類		・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																			
断熱材の種類		規格番号	厚さ 又は使用量																																																																																																					
フェルト状 断熱材	・ グラスウール	・ J I S A 9 5 0 4																																																																																																						
		・ J I S A 9 5 2 1																																																																																																						
	・ ロックウール	・ J I S A 9 5 0 4																																																																																																						
		・ J I S A 9 5 2 1																																																																																																						
ボード状 断熱材	・ グラスウール	・ J I S A 9 5 0 4																																																																																																						
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																																																																																							
	・ 押出法ポリスチレンフォーム	・ J I S A 9 5 1 1																																																																																																						
	・ 硬質ウレタンフォーム																																																																																																							
	・ ポリエチレンフォーム																																																																																																							
ばら状 断熱材	・ グラスウール	・ J I S A 9 5 2 3																																																																																																						
	・ ロックウール																																																																																																							
	・ セルローズファイバー																																																																																																							
現場発泡 断熱材	・ 吹付け硬質ウレタンフォーム A種1又はA種1H (難燃性を有するもの)	・ J I S A 9 5 2 6																																																																																																						
構造形式による種類	操作方式による種類	任意装置の操作方式	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)																																																																																																		
				パネル材質	表面仕上げ																																																																																																			
12 カーテン及び カーテンレール 《20.2.14》	・ カーテン <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>きれ地の種別 品質・製造所</th> <th>ひだの種類 表20.2.1 による</th> <th>開閉形式</th> <th>操作方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 片引き ・ 引分け</td> <td>・ 手引き ・ 電動 ・ ひも引き</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・ 暗幕用カーテン 両端、上部及び召し合わせの重なり寸法 ・ mm ・ カーテンレール及び付属品 強さ ・ 10-90 ・ 10-60 材料 ・ アルミニウム及びアルミニウム合金 ・ ステンレス 形状 ・ 角形 ・ C形 ・ D形 本数 ・ シングル ・ ダブル	施工箇所	きれ地の種別 品質・製造所	ひだの種類 表20.2.1 による	開閉形式	操作方式	備考				・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ 電動 ・ ひも引き																																																																																												
施工箇所	きれ地の種別 品質・製造所	ひだの種類 表20.2.1 による	開閉形式	操作方式	備考																																																																																																			
			・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ 電動 ・ ひも引き																																																																																																				
7	壁紙張り 《19.8.2》	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> モルタル・プラスター面の素地ごしらえの種類 ・ A種 ・ B種 コンクリート・ALC面の素地ごしらえの種類 ・ A種 ・ B種 せつこうボード面の素地ごしらえの種類 ・ A種 ・ B種	適用箇所	壁紙の種類	防火性能	備考			・ 不燃 ・ 準不燃				・ 不燃 ・ 準不燃				・ 不燃 ・ 準不燃		2 フリーアクセス フロア 《20.2.2》	材料構法等 適用箇所 * 図示による <table border="1"> <thead> <tr> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>帯電防止性能</th> <th>漏えい抵抗</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 試験方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>耐荷重性能</th> <th>耐衝撃性能</th> <th>ローリングロード性能</th> <th>耐燃焼性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 寸法精度 ・ ・ 20.2.2(2)(オ)による	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗	備考								耐荷重性能	耐衝撃性能	ローリングロード性能	耐燃焼性能	備考						5 トイレブース 《20.2.5》	参考品番 () 表面材 ・ エッジ材質形状 ・ 幅木の材質 ・	13 くつふきマット	適用箇所 材質 備考 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 ・ ビニル製																																																								
		適用箇所	壁紙の種類	防火性能	備考																																																																																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																						
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																						
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																						
寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗	備考																																																																																																		
耐荷重性能	耐衝撃性能	ローリングロード性能	耐燃焼性能	備考																																																																																																				
・ 軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材 ・ アクリル系 ・ ウレタン系 ・ ジョイントコンパウンド 下地の工法 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ・ 合板の張付け ・ A種 ・ B種 せつこうボードの目地工法 ・ 突付け工法 適用箇所 () ・ 目透し工法 適用箇所 () ・ 継目処理工法 適用箇所 ()	3 可動間仕切 《20.2.3》	適用箇所 * 図示による <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式による種類</th> <th colspan="2">構成基材の種類</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th rowspan="2">遮音性 (dB/500Hz)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>スタッド</th> <th>パネル</th> <th>パネル (mm)</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 性能等 パネル内に取り付ける建具 ・ あり (・ 寸法及び形状は図示による ・) ・ なし	構造形式による種類	構成基材の種類		表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	スタッド	パネル	パネル (mm)	材質								6 階段滑り止め 《20.2.6》	設置箇所 * 図示による 材質 ・ フラットエンド ・ 無 ・ 有 (・) 形式 ・ 幅 (mm) ・ 工法 ・	14 キッチンキャビネット	参考品番 () 品名 材質 寸法 (mm) 室名 カウンタートップ、シンク キャビネット ・ 流し台 ・ L= ・ コントラ台 ・ L= ・ 調理台 ・ L= ・ 吊戸棚 ・ L= ・ レンジフード ・ L= ・ 換気フード																																																																																
構造形式による種類		構成基材の種類		表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																																																	
	スタッド	パネル	パネル (mm)	材質																																																																																																				
7 黒板及びホワイト ボード 《20.2.8》	設置箇所 * 図示による 種類 寸法 (mm) 色 彩 形式 ・ 鋼製黒板 ・ 焼き付け ・ 緑 ・ 平面 ・ ほうろう黒板 ・ ・ 黒 ・ 曲面 ・ ホワイトボード ・ ほうろう 白	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	寸法 (mm)	材質	形状	備考																																																																																																	
適用箇所	寸法 (mm)	材質	形状	備考																																																																																																				
8 断熱材 《19.9.2~3》	・ 断熱材現場発泡工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>断熱材の種類</th> <th>吹付け厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	断熱材の種類	吹付け厚さ (mm)	備考					8 表示 《20.2.10》	衝突防止表示の設置箇所、寸法、材質等 ・ 市販品 (材質 寸法) ・ 図示による 誘導標識、非常用出入口等の表示 (設置箇所 * 図示による) ・ 消防法に適合する市販品 ・ 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、 印刷等の種別、取付け形式、設置箇所等 * 図示による	15 点検口	適用箇所 寸法 (mm) 材質 形状 備考																																																																																											
	適用箇所	断熱材の種類	吹付け厚さ (mm)	備考																																																																																																				
・ 断熱材現場発泡工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>断熱材の種類</th> <th>吹付け厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	断熱材の種類	吹付け厚さ (mm)	備考					9 煙突ライニング 《20.2.11》	安全使用温度 ・	16 天井裏換気パイプ	材質 * 塩化ビニル ・ ステンレス 径 (mm) * 50 外部付属品 ・ アミ ・ エルボ ・ イゲタ																																																																																												
適用箇所	断熱材の種類	吹付け厚さ (mm)	備考																																																																																																					
・ 断熱材現場発泡工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>断熱材の種類</th> <th>吹付け厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	断熱材の種類	吹付け厚さ (mm)	備考					10 ブラインド 《20.2.12》	使用箇所 形式 スラットの材種 開閉方式 スラットの幅 (mm) ・ 横型 ・ ・ ・ 縦型 ・ ・	17 床下換気孔	材質 ・ ステンレス ・ 合成樹脂 寸法 (mm) ・ 防虫網 ・ ステンレス製 ・ 合成樹脂製																																																																																												
適用箇所	断熱材の種類	吹付け厚さ (mm)	備考																																																																																																					
図面番号 ()	工事名	図面種別 仕様書7	縮尺	設計・年月	担当者	設計者																																																																																																		

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																											
18	階段及び廊下 手すり	参考品番 () 握り部材質 握り部径 (mm)	規格 標準詳細図による 一般品 (参考品番) 握り部材質 握り部径 (mm)	形式 一般品 (参考品番 :) 公共住宅標準詳細設計図集 (A B C D)	材質 寸法 (mm)	2 埋戻しに用いる材料 《 2 1 . 2 . 1 》	樹心た 適用箇所 種類 備考 * 図示による	3 アスファルト舗装 《 2 2 . 4 . 2 ~ 6 》	舗装の構成及び仕上がり 舗装の構成及び厚さ * 図示による 舗装の平坦性 * 2 2 . 4 . 2 (4) による 材料 再生アスファルトの種類 (表 2 2 . 4 . 1) 6 0 ~ 8 0 8 0 ~ 1 0 0 シーコート用の乳剤 PK-1 PK-2 加熱アスファルト混合物等の種類 (表 2 2 . 4 . 4) 表層 密粒度アスファルト混合物 (1 3) 細粒度アスファルト混合物 (1 3) 密粒度アスファルト混合物 (1 3 F) 基層 粗粒度アスファルト混合物 (2 0) アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない (公 社) 日本道路協会「舗装調査・試験法便覧」のアスファルト抽出試験方法による。	7 ブロック系舗装 《 2 2 . 8 . 2 ~ 5 》	舗装の構成及び厚さ (表 2 2 . 8 . 1) 適用箇所 部位 種類 クッション材 種類 厚さ (mm) 目地材 参考品名 歩行者用通路 コンクリート 砂 3 0 砂 モルタル 車路 インター 砂 2 0 砂 歩行者用通路 ロッキングブロック舗装 3 0 歩行者用通路 舗石舗装 砂 3 0 モルタル モルタル 舗石舗装の基層の厚さ * 図示による 材料 コンクリート平板の種類、寸法及び厚さ * 図示による インターロッキングブロックの種類、寸法及び厚さ等 * 図示による 舗装に用いる石材の種類、寸法及び厚さ * 図示による	2 0 植栽及び 屋上緑 化工事	1 植栽地の確認等 《 2 3 . 1 . 3 》	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 行う 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 行う 行わない																																																	
															2 1 浴室ユニット	規格 一般品 製造所等 外形呼び寸法 1 2 1 6 1 6 1 6	サイディング材 種類 形状 厚さ 取付け 縦張り工法 横張り工法	2 2 窯業系サイディング工事 (2 0 . 3 . 3)	サイディング材 種類 形状 厚さ 取付け 縦張り工法 横張り工法	側溝及び排水樹 現場打ちの場合の足掛け金物 * 図示による 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ及び種類 * 図示による 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ及び種類 * 図示による 継手の工法 接着剤 ゴム輪 通水試験 * 行う	4 コンクリート舗装 《 2 2 . 5 . 2 ~ 6 》	舗装の構成及び厚さ * 図示による 材料 コンクリート 部 位 設計基準強度 (N / m m 2) 所定のスランブ (cm) 粗骨材の最大寸法 (mm) 車路及び駐車場 歩行者用通路 普通コンクリート (表 2 2 . 5 . 1) 早強ポルトランドセメント 使用する 使用しない 注入目地材料 (表 2 2 . 5 . 2) 低弾性タイプ 高弾性タイプ 目地 コンクリート版の目地の種類、間隔及び構造 (表 2 2 . 5 . 3、図 2 2 . 5 . 1) * 図示による コンクリート版の厚さの試験 * 行う 行わない	8 砂利敷き 《 2 2 . 9 . 2 ~ 3 》	適用箇所 種 別 備 考	5 カラー舗装 《 2 2 . 6 . 2 ~ 6 》	カラー舗装の種類 加熱系カラー舗装 構成及び厚さ * 図示による 表層に用いる加熱系混合物の結合材 アスファルト混合物 石油樹脂系混合物 添加する着色骨材又は自然石 * 図示による 常温系カラー舗装 工法 ニート工法 塗布工法 着色部の下部 アスファルト舗装 コンクリート舗装 配合その他 * 図示による	1 9 舗装 工事	1 路 床 《 2 2 . 2 . 2 ~ 5 》	路床の構成 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ mm 路床安定処理 適用する (普通ポルトランドセメント 高炉セメント B 種 フライアッシュセメント 生石灰特号 生石灰 1 号 消石灰特号 消石灰 1 号) 適用しない 盛土に用いる材料 (表 3 . 2 . 1) A 種 B 種 C 種 D 種 試験 路床土の C B R 試験 路床締固め度試験 現場 C B R 試験	2 3 複合金属サイディング工事 (2 0 . 3 . 3)	サイディング材 同等品 () 形状・寸法等 * 図示による 取付け 縦張り工法 横張り工法	4 街きよ、緑石 及び側溝 《 2 1 . 3 . 1、2 》	緑石及び側溝の種類、形状及び寸法 (表 2 1 . 3 . 1) * 図示による 地業の工法 (表 4 . 6 . 3) 砂利地業の厚さ * 図示による	2 4 A L C パネル (薄型パネル) 工事 (2 0 . 4 . 2) (2 0 . 4 . 3)	薄型パネル 形状・厚さ * 図示による 取付け 縦張り工法 横張り工法 構 法 通気構法 直張り構法	2 3 複合金属サイディング工事 (2 0 . 3 . 3)	サイディング材 同等品 () 形状・寸法等 * 図示による 取付け 縦張り工法 横張り工法	4 街きよ、緑石 及び側溝 《 2 1 . 3 . 1、2 》	緑石及び側溝の種類、形状及び寸法 (表 2 1 . 3 . 1) * 図示による 地業の工法 (表 4 . 6 . 3) 砂利地業の厚さ * 図示による	2 4 A L C パネル (薄型パネル) 工事 (2 0 . 4 . 2) (2 0 . 4 . 3)	薄型パネル 形状・厚さ * 図示による 取付け 縦張り工法 横張り工法 構 法 通気構法 直張り構法																						
																																										1 8 排 水 工 事	1 排 水 管 《 2 1 . 2 . 1 》	材料 排水管用材料 (表 2 1 . 2 . 1) 適用箇所 材 種 種類・記号 形 状 呼び径 備 考 遠心力鉄筋 コンクリート管 硬質ポリ塩化 ビニル管 継ぎ手	側塊 適用箇所 形状及び寸法 備 考 * 図示による	排水樹 適用箇所 種 類 備 考 * 図示による	2 路 盤 《 2 2 . 3 . 2 ~ 5 》	路盤の厚さ * 図示による 材料の種類 クラッシュラン 粒度調整砕石 再生材クラッシュラン 再生粒度調整砕石 クラッシュラン鉄鋼スラグ 粒度調整鉄鋼スラグ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 路盤の厚さおよび締固め度試験 * 行う 行わない	6 透水性アスファルト 舗装 《 2 2 . 7 . 2 ~ 3 》	舗装の構成 * 図示による 舗装の平坦性 * 図示による 著しい不陸がないもの 試験練りおよび試験施工を行った後、現場配合を決定し、 表 2 2 . 7 . 2 の基準値を満足することを確認する。 透水性アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない	5 植 樹 《 2 3 . 3 . 2 》	材料 樹種、寸法、樹立数等 * 図示による 支柱材 丸太 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 幹巻き用材料 幹巻き用テープ わら又はこも 工法 支柱 添え柱形 鳥居形 ハツ掛け形 布掛け形 ワイヤ掛け形 地下埋設形											
																																																					1 8 排 水 工 事	1 排 水 管 《 2 1 . 2 . 1 》	材料 排水管用材料 (表 2 1 . 2 . 1) 適用箇所 材 種 種類・記号 形 状 呼び径 備 考 遠心力鉄筋 コンクリート管 硬質ポリ塩化 ビニル管 継ぎ手	側塊 適用箇所 形状及び寸法 備 考 * 図示による	排水樹 適用箇所 種 類 備 考 * 図示による	2 路 盤 《 2 2 . 3 . 2 ~ 5 》	路盤の厚さ * 図示による 材料の種類 クラッシュラン 粒度調整砕石 再生材クラッシュラン 再生粒度調整砕石 クラッシュラン鉄鋼スラグ 粒度調整鉄鋼スラグ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 路盤の厚さおよび締固め度試験 * 行う 行わない	6 透水性アスファルト 舗装 《 2 2 . 7 . 2 ~ 3 》	舗装の構成 * 図示による 舗装の平坦性 * 図示による 著しい不陸がないもの 試験練りおよび試験施工を行った後、現場配合を決定し、 表 2 2 . 7 . 2 の基準値を満足することを確認する。 透水性アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない	5 植 樹 《 2 3 . 3 . 2 》	材料 樹種、寸法、樹立数等 * 図示による 支柱材 丸太 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 幹巻き用材料 幹巻き用テープ わら又はこも 工法 支柱 添え柱形 鳥居形 ハツ掛け形 布掛け形 ワイヤ掛け形 地下埋設形
1 8 排 水 工 事	1 排 水 管 《 2 1 . 2 . 1 》	材料 排水管用材料 (表 2 1 . 2 . 1) 適用箇所 材 種 種類・記号 形 状 呼び径 備 考 遠心力鉄筋 コンクリート管 硬質ポリ塩化 ビニル管 継ぎ手	側塊 適用箇所 形状及び寸法 備 考 * 図示による	排水樹 適用箇所 種 類 備 考 * 図示による	2 路 盤 《 2 2 . 3 . 2 ~ 5 》	路盤の厚さ * 図示による 材料の種類 クラッシュラン 粒度調整砕石 再生材クラッシュラン 再生粒度調整砕石 クラッシュラン鉄鋼スラグ 粒度調整鉄鋼スラグ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 路盤の厚さおよび締固め度試験 * 行う 行わない	6 透水性アスファルト 舗装 《 2 2 . 7 . 2 ~ 3 》	舗装の構成 * 図示による 舗装の平坦性 * 図示による 著しい不陸がないもの 試験練りおよび試験施工を行った後、現場配合を決定し、 表 2 2 . 7 . 2 の基準値を満足することを確認する。 透水性アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない	5 植 樹 《 2 3 . 3 . 2 》	材料 樹種、寸法、樹立数等 * 図示による 支柱材 丸太 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 幹巻き用材料 幹巻き用テープ わら又はこも 工法 支柱 添え柱形 鳥居形 ハツ掛け形 布掛け形 ワイヤ掛け形 地下埋設形																																																					
1 8 排 水 工 事	1 排 水 管 《 2 1 . 2 . 1 》	材料 排水管用材料 (表 2 1 . 2 . 1) 適用箇所 材 種 種類・記号 形 状 呼び径 備 考 遠心力鉄筋 コンクリート管 硬質ポリ塩化 ビニル管 継ぎ手	側塊 適用箇所 形状及び寸法 備 考 * 図示による	排水樹 適用箇所 種 類 備 考 * 図示による	2 路 盤 《 2 2 . 3 . 2 ~ 5 》	路盤の厚さ * 図示による 材料の種類 クラッシュラン 粒度調整砕石 再生材クラッシュラン 再生粒度調整砕石 クラッシュラン鉄鋼スラグ 粒度調整鉄鋼スラグ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 路盤の厚さおよび締固め度試験 * 行う 行わない	6 透水性アスファルト 舗装 《 2 2 . 7 . 2 ~ 3 》	舗装の構成 * 図示による 舗装の平坦性 * 図示による 著しい不陸がないもの 試験練りおよび試験施工を行った後、現場配合を決定し、 表 2 2 . 7 . 2 の基準値を満足することを確認する。 透水性アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない	5 植 樹 《 2 3 . 3 . 2 》	材料 樹種、寸法、樹立数等 * 図示による 支柱材 丸太 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 幹巻き用材料 幹巻き用テープ わら又はこも 工法 支柱 添え柱形 鳥居形 ハツ掛け形 布掛け形 ワイヤ掛け形 地下埋設形																																																					

図面番号	工 事 名	図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者	設 計 者
()		仕様書 8				

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
	6 新植樹木の枯補償 《23.3.4》	補償期間 * 引き渡しの日から1年間									
	7 移植樹木の枯損処置 《23.3.6》	枯損処置を行う期間 .									
	8 芝 《23.4.2、3》	芝の種類、吹付けは種用種子の種類及び量、地被類及び芝張りの工法 * 図示による									
	9 屋上緑化 《23.4.1》	植栽基盤 土壌層の厚さ * 図示による 材料 屋上緑化システム 排水層の種類 * 軽量骨材(層の厚さ:) * 板状成形品 植込み用土の種類 * 改良土 * 人口軽量土 屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈込みのもの * 図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 * 図示による 工法 支柱 * 設置する(形式: * 図示による) かん水装置 * 設置する(種類: * 図示による)									
21 屋 外 整 備 工 事	1 フェンス	種類 * メッシュフェンス * ネットフェンス * 目隠しフェンス * 格子フェンス 表面処理 * 亜鉛めっき+粉体塗装 * 溶融亜鉛めっき 参考品番 ()									
	2 バリカー	材質 * ステンレス製 * 鋼製 * 擬石製 製造所: 参考品番 ()									
	3 視覚障がい者 誘導用、注意喚起 用ブロック	材質 * コンクリート製 * 磁器質タイル製 * 合成ゴム製 寸法(mm) * 300×300 形状 J I S T 9 2 5 1 による									
図面番号	工 事 名		図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者					
()			仕様書9								
						設 計 者					

章 使用材料表1 (5軸組工法(壁構造系)工事) (5.2.2)

特 記 事 項					
・「製材の日本農林規格」による目視等級区分構造用製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	構造材の種類	等級	含水率 (%)	保存処理
		・ 構造材Ⅰ ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20	
		・ 構造材Ⅰ ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20	
		・ 構造材Ⅰ ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20	
・「製材の日本農林規格」による機械等級区分構造用製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	曲げ性能 (等級)	含水率 (%)	保存処理	
			・ 15 ・ 20		
			・ 15 ・ 20		
			・ 15 ・ 20		
			・ 15 ・ 20		
・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	等級	形状	含水率 (%)	保存処理
		・ 特級 ・ 2級	・ 1級	・ 10 ・ 13	
		・ 特級 ・ 2級	・ 1級	・ 10 ・ 13	
		・ 特級 ・ 2級	・ 1級	・ 10 ・ 13	
		・ 特級 ・ 2級	・ 1級	・ 10 ・ 13	
		・ 特級 ・ 2級	・ 1級	・ 10 ・ 13	
* 加工前に構造耐力上主要な部分である柱及び横架材全数について、縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認し、報告書を監督職員に提出する。					
・ 無等級材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	含水率 (%)	等級 (材面の品質)	保存処理	
		・			
		・			
		・			
* 加工前に構造耐力上主要な部分である柱及び横架材全数について、縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認し、報告書を監督職員に提出する。					
・「製材の日本農林規格」による下地用製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	等級	保存処理		
		・ 1級 ・ 2級			
		・ 1級 ・ 2級			
		・ 1級 ・ 2級			
・「製材の日本農林規格」以外による下地用製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	保存処理			
・「集成材の日本農林規格」による構造用製材（寸法は図示による）					
施工場所	品名	樹種	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)
			・ 特級 ・ 2級	・ 1級 ・ C	・ A ・ B ・ C
			・ 特級 ・ 2級	・ 1級 ・ C	・ A ・ B ・ C
			・ 特級 ・ 2級	・ 1級 ・ C	・ A ・ B ・ C
・「集成材の日本農林規格」による化粧針構造用合板					
施工場所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度		
			・ 1類 ・ 特類		
			・ 1類 ・ 特類		
			・ 1類 ・ 特類		

章 使用材料表2 (5軸組工法(壁構造系)工事) (5.2.3)

特 記 事 項						
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用製材（寸法は図示による）						
施工場所	品名	芯材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ (mm)		
・「単板積層材の日本農林規格」による構造用単板積層材（寸法は図示による）						
施工場所	品名	樹種	等級	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分
			・ 特級 ・ 1級 ・ 2級	・ A ・ B ・ C		
			・ 特級 ・ 1級 ・ 2級	・ A ・ B ・ C		
			・ 特級 ・ 1級 ・ 2級	・ A ・ B ・ C		
・ 丸太材（詳細は図示による） * 加工前に構造耐力上主要な部分である柱及び横架材全数について、縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認し、報告書を監督職員に提出する。						
・ 木質接着成形軸材料（詳細は図示による） ・ 木質複合軸材料（詳細は図示による） ・ 木質断熱複合パネル（詳細は図示による） ・ 木質接着複合パネル（詳細は図示による）						
・ CLT（直交集成板）						
施工場所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)
・ 構造用パーティクルボード						
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)		
・ 構造用MDF						
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)		
・「合板の日本農林規格」による構造用合板						
施工場所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用
	・	* 2級 * 1級	・ 1類 ・ 特類	・ C-D	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない
	・	* 2級 * 1級	・ 1類 ・ 特類	・ C-D	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない
	・	* 2級 * 1級	・ 1類 ・ 特類	・ C-D	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板						
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度			
			・ 1類 ・ 特類			
・ パーティクルボード						
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分		
				・		
				・		
				・		
・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル						
施工場所	曲げ性能 (等級)			厚さ (mm)		
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級			・		
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級			・		
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級			・		

章 使用材料表3 (6軸組工法(軸構造系)工事) (6.2.2)

特 記 事 項					
・ パーティクルボード					
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	
				・	
				・	
				・	
・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル					
施工場所	曲げ性能 (等級)	厚さ (mm)			
		・			
		・			
		・			
・「集成材の日本農林規格」による構造用製材（寸法は図示による）					
施工場所	品名	樹種	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)
			・ 特級 ・ 2級	・ 1級 ・ C	・ A ・ B ・ C
			・ 特級 ・ 2級	・ 1級 ・ C	・ A ・ B ・ C
			・ 特級 ・ 2級	・ 1級 ・ C	・ A ・ B ・ C
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用製材（寸法は図示による）					
施工場所	品名	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	
			・	・ 1等 ・ 2等	
・「単板積層材の日本農林規格」による構造用単板積層材（寸法は図示による）					
施工場所	品名	樹種	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分
			・ 1 ・ 2		
			・ 1 ・ 2		
			・ 1 ・ 2		
・「製材の日本農林規格」による目視等級区分構造用製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	構造材の種類	等級	含水率 (%)	保存処理
		・ 構造材Ⅰ ・ 構造材Ⅱ ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20	
		・ 構造材Ⅰ ・ 構造材Ⅱ ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20	
		・ 構造材Ⅰ ・ 構造材Ⅱ ・ 乙種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20	
・「製材の日本農林規格」による機械等級区分構造用製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	曲げ性能 (等級)	含水率 (%)	保存処理	
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20		
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20		
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 15 ・ 20		
・「製材の日本農林規格」による構造用製材（寸法は図示による）					
施工場所	品名	樹種	曲げ性能等級	含水率 (%)	保存処理
			・ 15 ・ 20 ・ 15 ・ 20 ・ 15 ・ 20		

章 使用材料表4 (6軸組工法(軸構造系)工事) (6.2.3)

特 記 事 項					
・ 国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	含水率 (%)			
		・			
		・			
		・			
・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	等級	形状	含水率 (%)	保存処理
		・ 特級 ・ 2級	・ 耳付材		
		・ 特級 ・ 2級	・ 耳付材		
		・ 特級 ・ 2級	・ 耳付材		
* 加工前に、縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認し、報告書を監督職員に提出する。					
・ 無等級材（寸法は図示による）					
施工場所	樹種	含水率 (%)	等級 (材面の品質)	保存処理	
		・			
		・			
		・			
* 加工前に、縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認し、報告書を監督職員に提出する。					
・ 木質接着成形軸材料（詳細は図示による） ・ 木質複合軸材料（詳細は図示による） ・ 木質断熱複合パネル（詳細は図示による） ・ 木質接着複合パネル（詳細は図示による）					
・ CLT（直交集成板）					
施工場所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	種別
・「合板の日本農林規格」による構造用合板					
施工場所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種	接着の程度	板面の品質
	・	* 2級 * 1級	・ 1類 ・ 特類	・ C-D	・ 適用する ・ 適用しない
	・	* 2級 * 1級	・ 1類 ・ 特類	・ C-D	・ 適用する ・ 適用しない
	・	* 2級 * 1級	・ 1類 ・ 特類	・ C-D	・ 適用する ・ 適用しない
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度		
			・ 1類 ・ 特類		
・ パーティクルボード					
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	
				・	
				・	
				・	
・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル					
施工場所	曲げ性能 (等級)			厚さ (mm)	
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級			・	
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級			・	
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級			・	

図 面 番 号	工 事 名	図 面 種 別	縮 尺	設 計 ・ 年 月	担 当 者
()		仕様書 10			設 計 者